



ISSHIN TASUKE 2013..... No.002

一鍼たすけ

3
月号

社団法人 東京都鍼灸師会



2013.02.24「東京マラソン」ボランティア参加鍼灸師

- 3月10日 第6回
「都民公開講座」開催!
- 3月30・31日 第15回
日本在宅医学会大会 in 愛媛
- 鍼灸が「認知症」周辺症状
改善に有効!

目次

- ② スポーツ・災害時に役立つ 専門医のアドバイス
- ③ 東京マラソン研修会
- ④ 症例検討会
- ⑤ 鍼灸臨床セミナー
- ⑥ 介護予防サロン
- ⑦ 認知症Gold-QPD育成講座公開セミナー
- ⑧ 支部だより
- ⑨ 「新型うつ病?」首肩コリが原因
- ⑩ 第15回 日本在宅医学会大会 in 愛媛
- ⑫ お知らせ 編集室

スポーツ・災害時に役に立つ ねんざ 骨折 専門医のアドバイス

第44回 東京都福祉保健局委託学術研修会（後期）

足首のねんざ

1. 小学生の捻挫

2/3に近い比率で骨片が見られた
「剥離骨折」

2. スポーツ選手は寝相が悪い

処置なしでは痛くて眠れない場合が多いので
寝ている時に良い状態を保つ必要がある
（布団の重さが捻挫：受傷部位に重くかかり
痛んで眠れない）。夜間のシーネ固定が必要
（足関節の靱帯損傷 どこが伸びたりゆるみ
があるかを見て固定する）

3. 「治療肢位」と「良肢位」の違い

治療肢位… 足関節捻挫には治療肢位を
良肢位…… 骨折・術後・脳卒中で
ギプスや三角巾を用いる場合

4. 冷やす

急性期は出血を防ぐために冷やす
その後冷やし続けることは問題のある場合が
ある（傷ついた部位が「治る条件は血流の
確保急性炎症が遠のいたら温める方法も」と
コメント）

骨折

1. ① 表も裏も腫れていて

② 押したら痛い（圧痛あり）

…この場合は骨折を疑うべき

2. 明らかな骨折はレントゲンに写るが 写りにくい「ヒビ・骨折」が結構ある

3. 腱鞘炎と診断しても治りにくい場合は 「疲労骨折」を疑う



【演者紹介】

田淵整形外科クリニック 院長
学校法人 東京有明医療大学 客員教授
田淵 健一 医師



スライドテキストから

不意の「スポーツ外傷」や「災害時の応急処置」として大いに役立つことが多く
45年の臨床経験に学会症例発表を含めた貴重なお話でした

広報部

2013 2.24「東京マラソン」 ～東京がひとつになる日～

平成25年1月20日(日) 日本鍼灸会館2F講堂

エントリーする マラソン・ランナー (42.195Km または10.0Km)

一人一人の思いを大切に…鍼灸師だからこそできる「チームで支えるランナーのための支援活動」

2010年に始まり今年で4回目。東京マラソンへの参画は多くの方々の働きかけや「鍼灸に対するご理解・ご協力」があって実現しました。

今年からオフィシャル(公式)専用の救護スタッフウエアが支給されます。ボランティアは審判・

役員を含めて10,000人に達します。募集は毎年8月末に終了、過去最高の申込者は30万3,450人と発表。抽選倍率は約10.3倍。走る権利を勝ち取ったランナーは招待選手を含めて36,000人。毎年95%を超える完走率です。



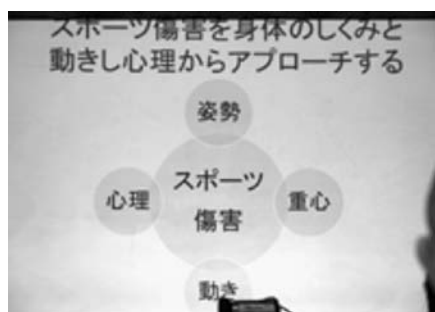
受付



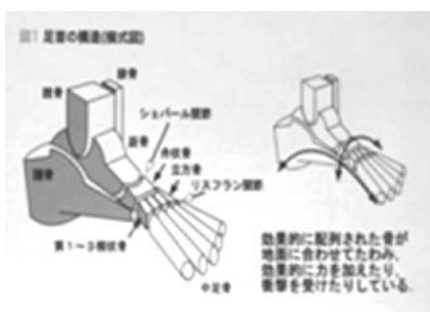
アイシング処置



パイオネックス鍼で施術



テキスト



小松秀人 日鍼会副会長

ボランティア研修テーマ

- ① シミュレーション「マラソンスポーツに関わる鍼灸師が知っておくべき基本的臨床能力」
…実践的な活動マニュアルについて
- ② プレゼンテーション「鍼灸師だからこそできるスポーツ領域における社会貢献」

ボランティア活動にかかわる鍼灸師は「まず、東京マラソンの全体概要を知る事が大事。」とのこと。この大会は単なるスポーツイベントではなく、まさに「東京がひとつになる日」です。鍼灸師だからこそできる支援を、大会の成功とともに達成したいと思います。

広報部 豊田 和宏

症例検討会

平成25年1月24日(木) 19:30 ~ 日本鍼灸会館2F講堂
座長: 岩元 健朗 氏(杉並)

症例①『運動療法を指導した肩関節痛の鍼灸施術』 橋本 成正 氏 (埼玉県鍼灸師会)

症 例: 62歳 男性

主 訴: 右肩関節外側と前面の痛み

初診日: 平成24年9月4日

1年半前からギターの練習を毎日1時間程度行っていた。3週間前から右肩関節の外側と前面に早朝明け方に鈍痛と動かし始めに痛い。右上肢は挙上できるが、降ろす時に痛むことがある。診察すると、上肢は上まで挙がるが、終末時に窮屈さを感じる。降ろす際に、90度付近で強く痛む。圧痛は、結節、間溝、巨骨に認められた。

以上から、腱板炎と診断した。9回60日間の

鍼灸治療と生活指導で完全に症状は消失しました。鍼灸治療に加え、生活指導として運動を指導したところ、急速に良好な結果を得られました。運動が嫌いな患者さんへも、根気よく説明し指導することの重要性を認識する症例でした。(なお、報告には、患者に指導した運動やストレッチ法などの多くの写真を添付されており、当日の参加者には今後のよい参考資料となった。)

症例②『圧痛点刺鍼で著効した腸脛靭帯炎』 元吉 正幸 氏 (豊島支部)

症 例: 40歳代 男性 トラック運送業

主 訴: 右臀部から大腿外側部の強い運動時痛

初診日: 平成25年1月4日

年末に長時間の重い荷の積み下ろし後に発症した。仕事柄、大腿四頭筋が発達しており、もともと長脛靭帯が内面から押し上げられる形で高い張力が発生しやすい状態にあり、今回の長時間重労働から、外側上顆との摩擦が続き長脛靭帯炎を発症したと考えた。さらに肉体労働後の

筋の炎症、特に大腿筋膜張筋の炎症により筋内圧が上がったことで、長脛靭帯の緊張状態が続き自然治癒しにくくなったものと推測できた。元吉氏は、長脛靭帯炎と診断し、血流改善による筋内圧改善と痛みの緩和を目的として、おもに圧痛点を中心に刺鍼し、3回の治療で治癒した症例であった。

臨床のコツ『皮内鍼と巨刺・女性の腰痛を例に実技』 本山 玉城 氏 (武蔵野・三鷹支部)

本山氏の治療実技は、前回発表の症例を元に、腰痛への皮内鍼を用いた実技を披露した。赤羽幸兵衛氏の理論的説明を交えながら、丁寧に皮内鍼の刺鍼法、注意点などを説明した。

次回の症例検討会は3月28日(木)午後7時30分からとなります。

座長を小池 英義氏(渋谷)にご担当いただき、加島 郁夫氏(千代田)、武内 潔氏(豊島)に症例をご報告いただきます。演題は東京都鍼灸師会のホームページからご確認ください。学術部の行事日程もアップしておりますので、あわせて、よろしくお願いいたします。 学術部 有馬 太郎

鍼灸臨床セミナー「五十肩」 Vol. 2

平成25年2月7日(木) 19:30 ~ 日本鍼灸会館2F講堂

本山 玉城 氏
(武・三 支部)



天崎 正典 氏
(港 支部)



徒手検査法を正しく理解し鑑別能力を高めることを目的としています。高い鑑別能力は患者さまへの信頼につながります。経験の浅い方は正確な手技の獲得や臨床のヒント探しに、ベテランの方は臨床能力の再確認などにご利用頂ければと考えております。

前回に残された課題：診察法と病態について。質疑応答にじっくり時間をかけて、とても学びの多いセミナーでした。18名の方にご参加いただきました。

問診の要点

1. 症状の発現部位を患者さま自身に指摘してもらう。
2. 一番楽な姿勢で、痛みがあるか確認する。
3. 一番楽な姿勢で就寝中に、痛みで目覚めるか確認する。
4. 上肢を挙上できるか尋ねる。できない場合は、痛みのためか、脱力のためかを確かめる。
5. 頸の運動で痛みが強くないか、確認する。

肩関節の徒手検査法

1. 発赤、腫脹、熱感の有無は？
2. 三角筋の萎縮
3. 外旋障害
4. ヤーガソン・テスト スピード・テスト
5. 有痛弧
6. 外転障害 自動および他動
7. 棘上筋・棘下筋の萎縮
8. 拘縮テスト
9. 結髪障害
10. 結帯障害
11. 圧痛 烏口、前隙、間溝、結節、肩貞、天宗

参加費500円 毎月第1木曜日19:30 ~ 21:00 日本鍼灸会館2階講堂にて

1疾患…1クール全3回(腰痛・坐骨神経痛は全4回) 当会のHPでスケジュールをご確認ください。

次回3月7日(木) 「五十肩」(全3回) 最終回

内容は「来院」～「治療」までロールプレイで行います。皆様のご参加をお待ちしております。

セミナー実行委員 草間 健二

介護予防サロン(モデル教室として)

平成25年1月23日(水) 日本鍼灸会館2F講堂

転倒予防・歩行改善などの目的で実施している豊島区委託事業の「筋力アップ教室」とは別に新たに導入が検討されている「介護予防サロン」のモデル教室を開催しています。

「筋力アップ教室」も「介護予防サロン」も豊島区介護予防事業の一環です。今回の「介護予防サロン」は今年度のモデル事業です。(筋力アップ教室の実績が評価されました)次年度から正規事業として豊島区は継続を検討中です。(豊島区高齢者福祉課)

介護予防サロンの目的

(1～3月の毎月1回 午後1:30から約2時間
合計3回を実施)

- ①「高齢者の閉じこもり」を防止すること
- ②「社会参加の場」を提供すること

介護が必要な状況になる手前の高齢の方々
(虚弱高齢者)が「筋力アップ教室」終了後も
継続して「参加できる場」を提供する事です。
(今回のサロン参加者:希望のあった30名の中
から、より必要度の高い状況を考慮し選抜され
た65歳から88歳の22名のみなさんです。)



介護予防運動指導員が指導にあたっている

- ① 豊島区包括支援センター職員
- ② 介護予防運動指導員である
東京都鍼灸師会会員
- ③ 豊島区のボランティアの方々

実施内容

- ① 身長・体重の測定(初回のみ)
- ② 体調チェック(問診・血圧測定)
- ③ 「筋力アップ運動」約1時間程度
- ④ 数名のグループに分かれ自己紹介などの
グループ別コミュニケーション

運動内容

通常の「筋力アップ教室」と同じ運動内容

運動後は、参加者と運営関係者が4グループに分かれ、お茶を飲みながら自己紹介・他己紹介を行い、お互いのコミュニケーションを計りました。最後に全員で「上を向いて歩こう」・「ふるさと」を熱唱し、初回の終了となりました。

参加者が帰られた後、豊島区職員・豊島区ボランティア・鍼灸師(介護予防運動指導員)で反省会が行われ『筋力アップ教室は椅子を使って行うので、家でも運動がやりやすい』『運動内容とその説明が良かった』『久しぶりに大きな声で歌った』など、参加者の感想も伝えられました。今回「介護予防サロン」に参加させていただき、高齢の方々にとっては「社会参加」(コミュニケーションなど)が重要であり、「運動」への関心が高く筋力アップのニーズがあるということを改めて実感しました。鍼灸師として治療の他に未病という面からも地域社会に貢献できればと思います。

介護予防運動指導員 金子 桂子

鍼灸が「認知症」周辺症状改善に有効！

平成25年1月20日(日)日本医科大学：新丸子キャンパス講堂(川崎市)
主催：(社)老人病研究会「認知症Gold-QPD育成講座公開セミナー」



日本医科大学 田尻 孝 学長挨拶



川並 汪一 会長



兵頭 明 氏

近い将来、日本において「患者の倍増」が予測される認知症。世界の先進国も同じ。

ドイツの精神医学者：アルツハイマー氏の論文発表⇒40代後半女性の症状「嫉妬・妄想・記憶障害が精神科疾患ではない。他の疾患概念である。」1907年から始まった「アルツハイマー型認知症」は2/3を占める。

ご本人だけではなく、ご家族や介護の現場でも困っている世界中の問題です。

認知症に特化した医学教育・実践を進めている取り組みの中で「鍼灸が認知症に有効性を示す症例」が発表された。川並汪一会長(日本医大名誉教授)・兵頭明常務理事(後藤学園：中医学研究所所長)は「さらに症例を積み上げて、鍼灸が認知症治療に有効であることを証明したい。」と熱く語っておられた。

川並会長は「有料老人ホームに一人の鍼灸師を配置せよ。」---「高齢者がかかえる不定愁訴をはじめ、いろいろな症状の軽減に鍼灸が有効。」とコメントを寄せています。

鍼灸はすでに周辺症状改善や予防に貢献しているはず。その症例が次々に発表された。まずは、私たち鍼灸師も軽度認知障害：MCI(アルツハイ

マー予備軍)の早期発見・予防・アピールにつとめる。

いずれは、軽度～中等度までの認知症患者さんの改善に貢献できる「認知症：鍼灸治療法の実現」。これらに取り組む「認知症Gold-QPD育成講座」に期待を寄せています。日本全国から

①鍼灸学校教員 ②身内に患者を抱える鍼灸師 ③介護関連現場で活躍する鍼灸師 などが受講しています。

そのほかにも東京・神奈川を本拠に「脳卒中・認知症予防」鍼灸ネットワーク などがグループで取り組んでいます。(パソコンやタッチパネル式で活用できる問診ソフトを制作)

広報部

東洋医学「鍼灸」で 健康・維持増進を！ 50歳を過ぎたら予防が大切に！



支部だより

新宿支部 公益活動… 新宿シティー・ハーフマラソン

381名のランナーに喜ばれました 平成25年1月27日(日)9:00～15:00 国立競技場
AED設置特設ブース施術所 (新宿支部)

参加5年目です。国立競技場に常設ブースとして定着しました。(催しは11回目をかぞえる) 国立競技場をスタートして 神宮外苑～四谷三丁目～四谷見附～曙橋～甲州街道新宿トンネル～新宿四丁目明治通り～北参道～再び外苑に戻り ゴール!!

国立競技場・神宮外苑はランナーにとって特別

な思いがあるようです。ランニングコースは新宿都心を走るのに参加者も全国区。応募も抽選・チャリティ枠あり、ミニ東京マラソンの印象を受けました。種目はハーフ(10Km)&健康マラソンの部では小中学生・ひよこ そして42.195kmの親子マラソンなどがあります。ボランティア参加者:38名(会員12名・非会員16名・学生10名)



ハーフ女性1位 & 術者



出走前調整で完走!



ベテランと新人



「パパ痛くない?」



受付



治療ブース



ボランティア
参加者
全員集合!

新宿支部長 井坂 卓司

平成24年11月18日(日) 9:30～16:30 東十条ふれあい館ABホール
主催：北区健康いきがい課(北支部)

今年も「元気で輪っしょい! 健康フェスティバル2012」に参加しました。

「元気! 健康! はり・きゅう」と題し、会場の東十条ふれあい館ABホールで鍼灸の体験と自分の体の歪みを経験してもらいました。鍼灸の体験者57名(内歪みも体験した方4名)当日参加した先生方は、大分気合が入っていて、鍼灸の体験後もストレッチの仕方や養生の仕方などを一人一人に熱心に説明していたので、昼食も交代で取りました。体験後、北区いきがい課のアンケート

によると(57名中41名の方が協力)、その項目中「参加したイベントはいかがでした」では「満足」と答えた方が38人と、とても好評であったと担当者も大変喜んでおりました。来年はもっと多くの区民の方にこのイベントを知っていただき、体験していただきたいので次年の広報について話し合っただけになりました。(東鍼会会員 9名で参加) 北支部 小野 済

「支部だより」にみなさまの記事をお寄せください。メールアドレス info@harikyu-tokyo.or.jp

一鍼たすけ



「新型うつ病?」は首肩コリが原因

首は人体の急所!

顔が前に「にゅ～」スライドした姿勢も?

最近「新型うつ病」を聞くことが多い。どうやら従来から組織される「日本うつ病学会」ではなく「日本新型うつ病学会」が脳神経外科・神経内科・内科医ら約80名で2011年12月に発足したことがわかった。事務局を置く：東京脳神経センター松井理事長は「この病気は精神病ではなく首が原因であり、治せる。毎年3万人超の自殺者の多くがこの病気であり、精神科の薬剤処方では難しく、微熱や風邪症状・天候による変化・のどの渇き・めまい・疲れやすい・不安感など。典型的な首からの新型うつ病であり鍼治療が効果大。」とコメントし、またの名を「頸筋うつ」と呼んでいる。…「うつモドキ」があるのかも…。

以前から「うつ症状の改善に鍼灸が有効性を示す」ことは、私たちの鍼灸界では知れ渡っている。しかし、年間3万人の自殺者と共に、結構な数の休職者がいて日本の社会・企業は対応に困っている状況が続いている(企業も損失あり)。何よりも患者さん自身が深刻な状況に追いやられてしまう…私たち鍼灸師による社会

への発信力不足が問われているので、この場をお借りして訴えたい。基本的に、休みがちでも何とか

①仕事ができる。②家事ができる方は「鍼灸で好転することが多い」大勢の鍼灸師が良い結果に導いている。

もちろん、場合によっては「専門医へのご紹介」も忘れてはならない。ひどい病気に「脳脊髄液減少症」最近になって分かってきた---仕事はもちろん、朝起き上がれない…もあるようだ。

①(うつ・頭痛・頭重) 不定愁訴…(治療法が定まらない) 検査で病名が確定しないが調子が悪い

②自律神経失調…最近では「気候病」、季節の変化に順応↓(気圧の変化・低気圧が来ると悪化)

上記の症状でお困りの方は、ぜひ東京都鍼灸師会会員にご相談ください

東京都鍼灸師会 ホームページにアクセス
<http://harikyu-tokyo.or.jp>

一般の方向け → 施術所案内 → ブロック
→ 施術所を選びます

第15回 日本在宅医学会大会 訪問鍼灸マッサージ師交流会

日本在宅医学会の中心で「訪問鍼灸・マッサージの意義を叫ぶ」
～医療・介護と連携できる鍼灸師・マッサージ師になるために～

3/30^土・31^日

会 場 ひめぎんホール 愛媛県松山市道後町2-5-1

講演者 ①社団法人 東京都鍼灸師会会長 公益社団法人日本鍼灸師会理事 高田 常雄
②医療法人 ゆうの森 たんぽぽ クリニック 院長 矢野 博文
③医療法人 ゆうの森 在宅医療連携拠点 たんぽぽ リーダー 一井 美哉子

会 費 医師 11,000円 コメディカル・一般 4,000円 学生 2,000円
抄録集 1,000円

申込み 大会事務局 089-911-6333

【お知らせ】

「第15回日本在宅医学会大会in愛媛」の大会において、大会長の永井康徳先生はじめ大会役員の先生方が鍼灸師、マッサージ師のためのシンポジウムの場を企画して下さいました。

これは、厚労省が今進めております地域医療連携の推進です。私たち鍼灸師をこれからの医療連携の一員としての呼びかけと存じます。

ご承知のように、日本は高齢化率が21%以上の超高齢社会に突入しました。

鍼灸師はこれら高齢者の方々のQOL維持・改善のための医療・福祉サービスを提供することが可能です。なかでも在宅医療を受療している方々に多い筋肉の緊張による腰痛症には特に有効と思います。

また他の分野として、鍼灸の福祉サービスが考えられます。在宅生活で高齢者のQOLをより低下させる要因として「老年症候群」が考えられ

ます。鍼灸はこの老化そのもの（高齢そのもの）が原因となる老年症候群を推し進める症状に対応できると思います。

1. 認知機能改善
2. 尿失禁改善
3. 口腔機能改善

私たちは、鍼灸師としての医療・福祉分野でのサービスを行いながら、「介護予防運動指導員養成講座」で学んだ老年症候群対策の知識と技能を在宅医療の分野でも活用しています。

それは、鍼灸の知識と技能、介護予防運動指導員の知識と技能（高齢者機能向上トレーニング）を組み合わせ、高齢者の方々のQOL維持・向上に貢献できるはずです。

今後の日本在宅医学会の活動を注目して下さい。ことと共に、今大会の参加をぜひ、願ひ申し上げます。

高田 常雄

生き方に 向き合う 在宅医療

高齢社会から多死社会へ

「人生の最期は病院で…」これまで当たり前のように語られてきたことが、超高齢社会が間近に迫るニッポンで大きな転換期を迎えようとしています。
これまでにない数の高齢者が終末期を迎える時、あるべき在宅医療・在宅ケアとは？
医療の最前線で活躍する人たちが一堂に会してさまざまな問題点や課題を論じ、新たな工夫や仕組みについての発表を、歴史と文化の街、愛媛・松山で行います！

医師だけでなく多職種協働および患者・ご家族が在宅医療に関わる多職種の皆様と、様々な

講演・シンポジウム

- 多死社会を迎えて在宅医療が果たす役割
- 病院が変われば在宅医療が変わる
- 生き方に向き合う在宅医療
～高齢社会から多死社会へ～
- どうすれば開業医が在宅医療に参入できるか
- 「食」を支援する多職種連携
- 認知症の人の生き方に向き合う
- 被災地に学ぶ
～災害過疎地域で在宅医療をどう展開するか～
- 介護職の医療行為導入でどう変わったか
- 小児在宅医療の展望

ワークショップ

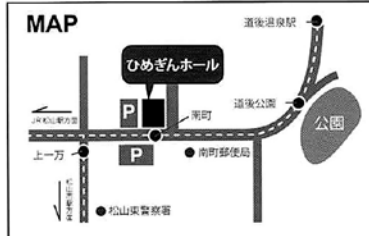
- 行列のできる在宅相談所
多職種連携向けグループワーク
- 在宅指導医大会

参加方法

【参加費用】

参加区分	事
医師・歯科医師（日本在宅医学会員）	1,000
医師・歯科医師（非会員）	1,000
コメディカル・一般（日本在宅医学会員）	4,000
コメディカル・一般（非会員）	2,000
学 生	2,000
抄 録 集	1,000

会場：ひめぎんホール
〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号



第15回 日本在宅医学会大会

in 愛媛

3/30^土・31^日

<http://www.tampopo-clinic.com/zaitaku2013/>

会 場：ひめぎんホール

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号

【大会事務局】

医療法人ゆうの森 担当：木原・前島
〒791-8056 愛媛県松山市別府町444-1
Tel：089-911-6333 Fax：089-911-6334
E-mail：zaitaku15@tampopo-clinic.com

後援：愛媛県、松山市、日本医師会、日本訪問看護財団、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会、日本介護支援専門員協会、日本鍼灸師会、愛媛県看護協会、愛媛県社会福祉協議会、愛媛県介護福祉士会、愛媛県鍼灸マッサージ師会、愛媛県鍼灸師会、松山市社会福祉協議会

※事前申込は、2013年2月28日（木）までです。
これ以降は当日申込となりますので、宿泊、懇親会の予約申込はできません。

市民公開講座
4 講座開催

入場
無料

第15回 日本在宅医学会大会 ポスター

四国・松山 湯のまち 道後温泉へ

大会の開催会場（ひめぎんホール）は、道後温泉から路面電車で約3分の近さ！2013年の日本在宅医学会大会は、春爛漫の温泉地での開催です。
あのミシュランガイドブックに☆☆☆で紹介されたこともある「坊ちゃん湯」は市営の公衆浴場。築110年余の木造三階建てで、国の重要文化財指定、「千と千尋の神隠し」の浴場のモデルになったともいわれる有名な場所です。

第15回日本在宅医学会大会事務局

〒791-8056 松山市別府町444-1
医療法人ゆうの森 担当：木原・前島
TEL：089-911-6333 E-mail：zaitaku15@tampopo-clinic.com

第730回

(公社) 日本鍼灸師会共催「学術講習会」

3月
24日
日曜日

整形外科疾患【共通】「腰痛について」(仮題)

関東労災病院 勤労者筋・骨格系疾患研究センター センター長 松平 浩 氏

鍼灸治療編【共通】「脊柱管狭窄症に対する鍼治療の作用機序について—観察検査とハリ通電療法の実例—」

筑波技術大学 保険科学部 教授 野口 栄太郎 氏

会 場 日本鍼灸会館2階講堂

時 間 13:00 ~

会 費 学生・会員3,000円 一般3,500円

※今年度の東京開催 6月24日 7月22日 12月9日 3月24日 計4回
正式演題はホームページからご確認ください。

ホームページアドレス <http://harikyu-tokyo.or.jp>

事務局の業務時間 午前9時から午後5時まで。土曜日・日曜日・祝日は休業いたします。

すべてのお問い合わせ **03-3985-7501** (東鍼会事務局あて)

編集室



小春日和が続くようになりました。もうすぐ春ですね。本誌“一鍼たすけ”も、皆様の御支援のもと第二巻の刊行に漕ぎ着けました。編集部長は、過労で倒れる寸前ですが、鍼灸業界にも春の訪れは近いので、こんなところでバツタリいくわけには参りません。本年も、鍼灸院の患者さん方に役立つ情報、皆さんと共有し発信して参ります。どうぞ応援して下さい。また「こんなこと載せた方がいいんじゃない?」とか「こんな特集が見てみたい!」などの御希望は、当編集部までじゃんじゃんお送り下さい。お待ちしております!

(鳥海 春樹)

追伸: “一鍼たすけ” 学術関連記事の監修担当で浦山久昌氏が編集委員に加わりました。どうぞよろしく。

発行者  **社団法人 東京都鍼灸師会** 会長 高田 常雄

住 所 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-44-14 日本鍼灸会館内

電 話 03-3985-7501 FAX 03-3985-7526

メールアドレス info@harikyu-tokyo.or.jp

《広報部長》 天野 寛敏 《編集委員》 鳥海 春樹 豊田 和宏 二階堂 貴子 《監修担当》 浦山 久昌

デザイン: ブランタウン 原田 印刷: 共栄印刷株式会社 東京赤坂営業所 03-5561-0305

5月号の原稿締切: 3月31日 発行予定: 5月10日